

20 杉並第 41938 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省 道路局長 様

杉 並 区 長
山 田



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号にて依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

担当：杉並区 都市整備部 建設課

TEL 03-3312-2111（内線 3433）

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

東京都杉並区

- ☐ 地方自治体の道路整備・維持管理を確実に実施するに必要な財政的・技術的支援をお願いしたい。
- ☐ 国において道路整備を進める場合、地方自治体の意見を十分尊重し、誠実に対応されたい。
- ☐ これからは環境に配慮した道路施策がいっそう強く求められてくると考える。水やみどりと共存できる道路整備のあり方を検討願いたい。
- ☐ 駅前広場整備、連続立体事業の推進、駅周辺の放置自転車対策などには、鉄道事業者の尽力が欠かせない。鉄道事業者の積極的な協力が得られるような仕組みづくりを求める。
- ☐ 生活道路での電線類地中化整備に関する技術や仕組みの確立を図られたい。
- ☐ 人口など需要を反映した財政的支援について配慮されたい。
- ☐ 当区では道路整備が遅れたまま都市化し、通過交通の進入により生活の安全性・利便性が阻害されている。すでに都市化した地域での道路整備を進めるためには先行買収による方法が有効であると考えるところであり、配慮についてお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式②

東京都杉並区

○現状

杉並区は土地区画整理事業の実施された北西部地域を除き、かつての農業を基盤とする地域に鉄道駅を中心として住宅地が拡大・形成されてまちができたため、生活基盤となる市街地や公共施設の整備が遅れた状況になっている。

特に道路については、南北方向の都市計画道路が未整備であるとともに、南部地域を中心として市街化以前の農道を中心とした狭あいな生活道路にたよっている地域が多い。

また、公園が全般的に不足しているとともに、過半を占める民有地のみどりが敷地の細分化、建て込みの進行、屋敷林の伐採や農地の宅地化などにより、減少している。

○課題

道路整備の遅れにより、駅前や生活道路に通過交通が進入するなど安全性・利便性等が阻害されている。

また、バリアフリー・安全安心・みどり・景観といった今後の超高齢社会等に対応するための道路の質の整備が未成熟である。

さらに、市街地化に対応する集中的に整備された道路・橋梁・駅前広場等の都市施設が一時期に大量に老朽化すると考えられる。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式③

東京都杉並区

杉並区はみどり豊かな住宅都市としての基本的性格を維持するため、安全で安心して生活ができ災害に強い活力あるまちを目指し、さらに発展させる必要がある。このため、道路・交通機能の整備にあたっては水やみどりと共存するなど、計画段階からあらゆる場面において環境面に配慮し、人優先の生活に密着した整備を図ることが重要である。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④
東京都杉並区

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
●大規模な地震、火災に強い国土づくり等	東京都市計画道路幹線街路補助線 街路第 132 号線の事業化検討	延焼遮断帯・避難道路の整備	
● 高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成	JR 中央線高円寺駅前広場整備	駅周辺における安全で誰もが利用しやすい歩道等の整備	
	主要生活道路（特別区道第 2332 号線）の整備	駅周辺における安全で誰もが利用しやすい歩道等の整備	
● 良好な生活空間の形成	商店街のカラー舗装化	商店街の活気やうるおいの向上	
	宮前二丁目地区地区計画道路整備	住宅地における安全安心の向上	
	狭あい道路拡幅整備	〃	
● 良好な景観の形成	特別区道第 2101-1 号線の整備	駅と史跡等を結ぶ経路の景観向上	